

スライド 1

産業で町づくり

課題

・わかめの芽組さんやオйкаワデニムさんなど素晴らしい企業があるが良さがあまり知られていない。

課題は、小泉には素晴らしい企業があるが、良さがあまり知られていないことです。

事例①

産学官連携等による地域づくりの取り組み事例

地域：北海道十勝地域

プロジェクト名：食と農林業を柱とする地域産業政策「フードバレーとかち」

行政の課題：産業育成、人をやとうこと

手法：産学官金の関係による付加価値の創出

まず、事例1。産学官連携等による地域づくりの取り組み事例で、これは、北海道十勝地域で行われています。

【プロジェクト】

- ・十勝の農林漁業団体・商工業団体、大学・試験研究機関、金融機関、行政機関、(41団体)で協議会を構成。
- ・フードバレーとかちを旗印にオールリレー十勝で「食」と「農林業」を柱とした産業政策を推進。



事例②

食・農による地域づくりの取り組み事例

プロジェクト名: 地元民を対象に物鮮魚を中心とした品揃えで人気の道の駅

主要団体: ふるさと萩食品協同組合

地域: 山口県萩市

行政の課題: 地魚の消費拡大、販路開始

手法: マーケティングノウハウを「ヨソモノ」によるマーケティング手法の提案、地域資源のブランド化販路拡大

次に事例2。食と農による地域づくりの取り組み事例で、山口県萩市で行われています。地元民を対象に物産品や鮮魚を中心とした品ぞろえで人気の道の駅として取り組んでいます。

【プロジェクト】

・地域に埋もれていた「真ふぐ」を発掘、再評価することで「萩の真ふぐ」としてブランド化に成功したのを皮切りに素材を生かした新商品の開発に取り組み、「萩のあまんたい」、「萩の金太郎」を次々とブランド化した。



提案

- ・わかめの芽組さんやオйкаワデニムさんなどをもっと知ってもらうために、お祭りなどに商品を出す。
- ・公民館やお店などで芽組さんやオйкаワデニムさんが作ったものを見せたり売ったりする。

方法

・わかめを使った料理をみんなで作ったり、お祭りで売ったりして、みんなで食べる。

・オйкаワデニムさんのデニムでポーチなどをみんなで作る。自分で作ったものを持ち帰ったり、作ったものを売るったりする。



方法

- ・公民館やお店などでわかめの芽組さんやオйкаワデニムさんが作ったものを見せたり売ったりする。
- ・わかめの芽組さんやオйкаワデニムさんなどをもっと知ってもらうために、お祭りなどで商品を出す。



そうすることによって、
人と人が仲良くなったり
友達になったりするかも
しれません。

